

2018 年 11 月 6 日
千代田化工建設株式会社
IR・広報・CSR 部

業績予想及び配当予想の修正に関する 電話会議説明要旨 (2018 年 10 月 31 日発表)

千代田化工建設の山東です。

本日はお忙しいところ、急なご案内にもかかわらず電話会議にご参加いただき、ありがとうございます。また、このような業績予想の大幅下方修正、配当予想の修正に至りましたことについて、株主、投資家の皆様に深くお詫び申し上げます。

それでは、ただいまから本日正午に東京証券取引所に届け出ました「業績予想及び配当予想の修正」についてご説明いたします。

ご存知の通り、当社第 2 四半期決算発表は 11 月 9 日のため、本日のご説明では第 2 四半期決算に関連する内容に触れることができないことにご理解くださいますようお願いいたします。なお、今回の下方修正につきましては、第 2 四半期決算に適切に反映されております。

それでは、適時開示資料に沿ってご説明いたします。

まず、「2019 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正」についてです。

売上高は期首予想の 4 千億円を達成できる見通しですが、各利益項目は、現在遂行中の大型 LNG プロジェクト、具体的には米国ルイジアナ州で遂行中のキャメロン LNG プロジェクトにおける約 850 億円の工事コストの大幅増加を主たる要因として、下方修正となりました。

営業利益は 980 億円減のマイナス 865 億円、経常利益は 990 億円減のマイナス 865 億円となる見込みです。

また、親会社に帰属する当期純利益は、上記に加え繰延税金資産の取り崩しによる法人税の負担増もあり、1,115 億円減のマイナス 1,050 億円となり、1 株当たり当期純利益はマイナス 405.46 円となる予想です。

次に、業績予想修正の理由をご説明いたします。

キャメロン LNG につきましては第 1 四半期決算時にご説明の通り、ジョイントベンチャーパートナーであるマクダーモット社とコスト精査を行って参りました。

この精査過程において、今後の工事コスト予想を定めるうえで重要な次の事実を両社で認識しました。

1. 現場作業員、特に技能工の深刻な不足が今後も続く見通しであること
2. 人件費が大幅に高騰していること
3. 現場作業員の低い定着率に今後の改善が見込めないこと
4. これらを踏まえ、現場工事の生産性が、本年 4 月までは改善傾向にあったものの、5 月以降は再び低下し、今後の大幅な改善を見込むことが難しくなったこと、

この資料には、本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

これらの認識に基づき、今後工事完工までに必要とされる労働時間いわゆる Man-hour を従来の予想より大幅に見込まざるを得ないとの判断に至り、その結果、この必要労働時間(Man-hour)に労働単価(すなわち賃金)と掛け合わせた今後の工事コストを厳格に見込んだ結果、今回の大幅な追加コスト見通しとなったものです。

第1四半期決算時点では、5月以降に生産性の低下が見られたものの、これは従来のマクダーモット社直備による工事遂行に加え、生産性向上を目指して、別途、複数の工事専門業者をサブコントラクターとして雇用したことによる一時的な混乱が原因と判断していました。しかしながら、7月以降も生産性の向上が見られず、先程説明の事情を踏まえ、今後の生産性の予想値を慎重に検討し、保守的に修正することにしたものです。

尚、今回の精査はマクダーモット社と共同で行い、その結果も共有しています。現時点で不安要素をすべて勘案し、保守的に見積もっておりますので、現状これ以上の損益悪化はないと考えております。

キャメロンLNG以外の損益悪化要因としては、フリーポートLNG、タンゲールLNGのコストを保守的に見直したこと、及び繰延税金資産の取り崩しを行うことに因るものです。

最後に、配当予想の修正についてご説明します。

今回の業績予想の修正に伴い、誠に遺憾ながら無配の予想とさせていただきます。

当社は、今回の業績下方修正及び配当を見送らざるを得ない事態を重大なものとして受け止めております。株主・投資家の皆様、お取引先の皆様、市場関係者の皆様をはじめ、多くのステークホルダーの皆様にご迷惑とご心配をお掛け致しましたことを、深くお詫び申し上げます。早期の業績回復と復配を目指し、全社を挙げて取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

では、これよりご質問をお受けいたしますが、11月9日の決算説明会を控えておりますので、質疑の内容は、本日の適時開示の内容に限らせて頂きます。

以上